

Prime Infrastructureを使用したWLC設定のバックアップ

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定バックアップジョブの設定](#)

[AireOS 8.x WLC](#)

[Catalyst 9800 IOS-XE WLC](#)

[参考資料](#)

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Prime Infrastructure(PI)を管理サーバとして使用している場合に、AireOSまたはIOS-XE(Catalyst 9800)のいずれかを実行しているCisco Wireless LAN Controller(WLC)の設定をバックアップするプロセスについて説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識が推奨されます。

- Catalyst 9800またはAireOS WLCの基本設定
- Cisco Prime Infrastructureはすでにセットアップされており、コントローラはインベントリにすでに追加されています。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

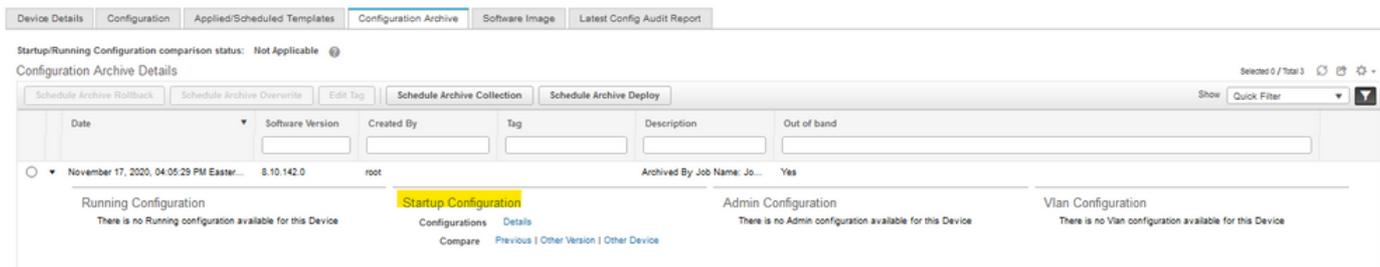
- Catalyst 9800コントローラv17.3.1
- 8.10.130が稼働する5520 WLC
- Prime infrastructure 3.8.1

設定バックアップジョブの設定

AireOS 8.x WLC

AireOS WLCでは、設定をバックアップする方法が2つあります。

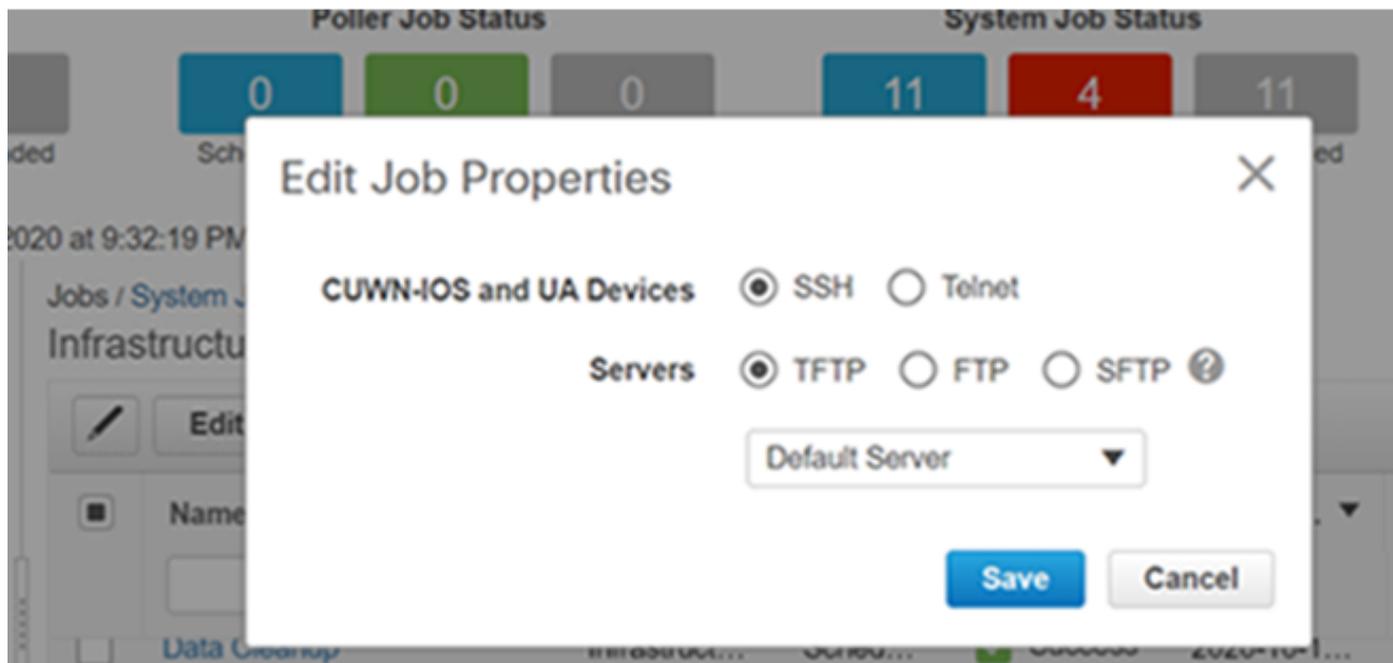
SSHを介してWLCに到達できる場合、Prime Infrastructureの設定アーカイブページは正常に機能します。この操作を実行するためにTFTPは必須ではありません。この設定は、Prime Infrastructureのスタートアップ設定の下に次のように表示されます。



コントローラ設定のバックアップ (管理ページのシステムジョブ内) は、(S)(T)FTPアップロードを使用してWLC設定をバックアップするために使用されます。

PrimeはタスクをWLCにプッシュし、WLCはジョブオプションで設定されたTFTPサーバにコンフィギュレーションファイルを直接プッシュします。このオプションは実行前に編集できます。

ジョブオプションでデフォルトのTFTPサーバが選択されている場合、コンフィギュレーションファイルはデフォルトリポジトリのPrime Infrastructureに直接アップロードされます (次の出力では、Prime Infrastructure IPは10.48.76.8です)



[Results] :

```
<#root>
```

```
(W-8510) >
```

>*TransferTask: Oct 18 19:41:05.759: Memory overcommit policy changed from 0 to 1

*TransferTask: Oct 18 19:41:05.759: RESULT_CODE:1

*TransferTask: Oct 18 19:41:42.036: tftp rc=0, pHost=10.48.76.8 pFilename=10_48_76_26_201018_2339.cfg

*TransferTask: Oct 18 19:41:42.043: RESULT_CODE:11

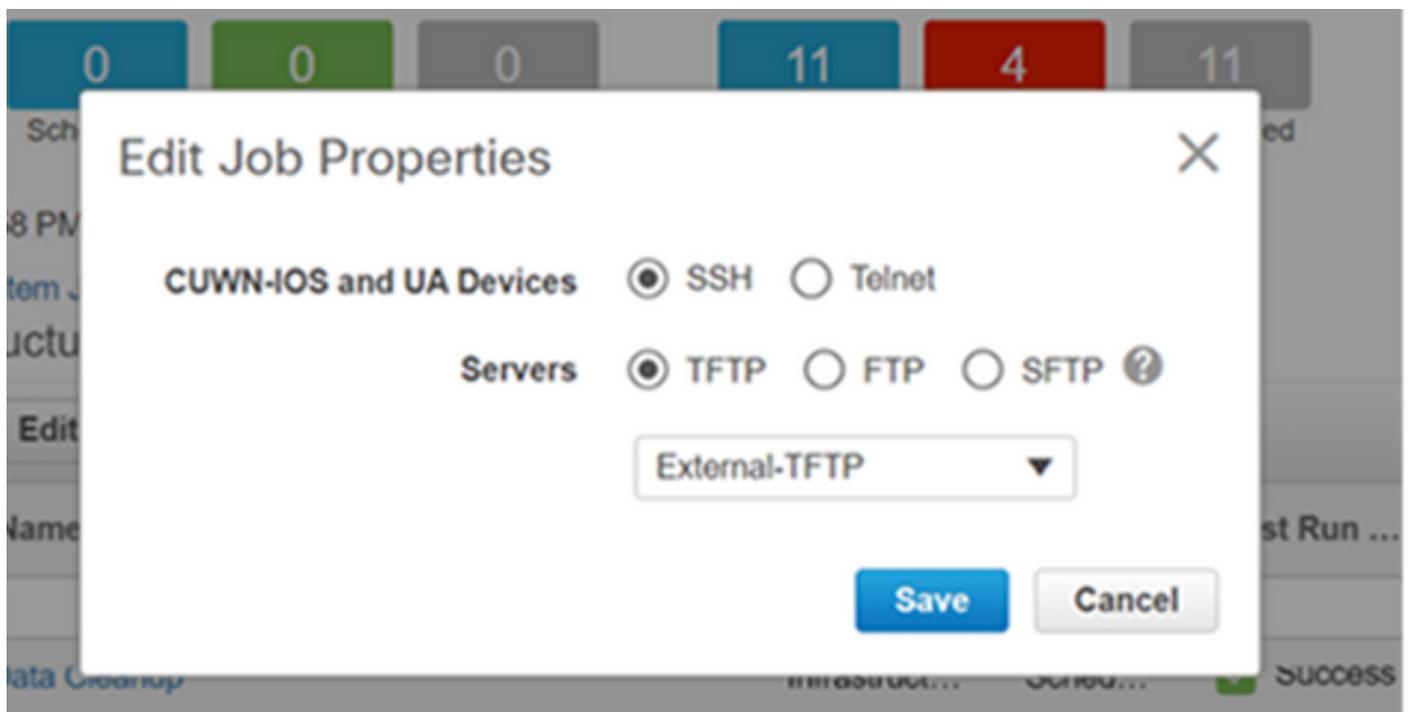
*TransferTask: Oct 18 19:41:42.043: RESULT_STRING: File transfer operation completed successfully.

*TransferTask: Oct 18 19:41:42.043: Memory overcommit policy restored from 1 to 0

*TransferTask: Oct 18 19:43:46.117: Memory overcommit policy changed from 0 to 1

*TransferTask: Oct 18 19:43:46.118: RESULT_CODE:1

別のTFTPサーバを選択すると、WLCはそのサーバに設定を直接アップロードします（次の出力では、TFTPサーバのIPは10.48.178.221です）。



[Results] :

<#root>

((W-8510) >*TransferTask: Oct 18 20:02:10.853: Memory overcommit policy changed from 0 to 1

**TransferTask: Oct 18 20:02:10.853: RESULT_CODE:1*

**TransferTask: Oct 18 20:02:10.853: RESULT_STRING: TFTP Config transfer starting.*

**TransferTask: Oct 18 20:02:46.883: tftp rc=1, pHost=10.48.178.221 pFilename=10_48_76_26_201019_0000.cfg*

TFTPサーバを追加する手順については、Prime Infrastructure管理者ガイドを参照してください。

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/net_mgmt/prime/infrastructure/3-3/admin/guide/bk_CiscoPrimeInfrastructure_3_3_AdminGuide/bk_CiscoPrimeInfrastructure_3_3_AdminGuide.html

したがって、コントローラ設定のバックアップの実行中は、ジョブ設定に基づいてWLCコンフィギュレーションファイルがサーバに直接プッシュされます。

Catalyst 9800 IOS-XE WLC

Prime Infrastructureでは、バックアップ設定の取得に使用できるジョブが2つあります

- デバイス設定のバックアップ : External
- コントローラ設定のバックアップ

ただし、configアーカイブも使用でき、Prime Infrastructureでコンフィギュレーションを直接バックアップすることもできます。

コントローラ設定のバックアップシステムジョブを実行する場合。設定は、選択したプロトコルやリポジトリに関係なく、SSH経由（「Show run-config」を使用）で取得され、Prime Infrastructure tftpフォルダに保存されます。

Prime Infrastructureの外部で9800 WLCのバックアップ設定を取得するには、タスクDevice Config Backup-Externalを実行する必要があります。

9800 WLCは、設定のバックアップを（AirOSとしてではなく）スイッチまたはルータとして扱うため、動作が異なります。

ジョブ「Device Config Backup-External」が実行されると、設定はPrimeから外部サーバに送信されます。そのため、アーカイブされた設定を外部サーバにエクスポートします。

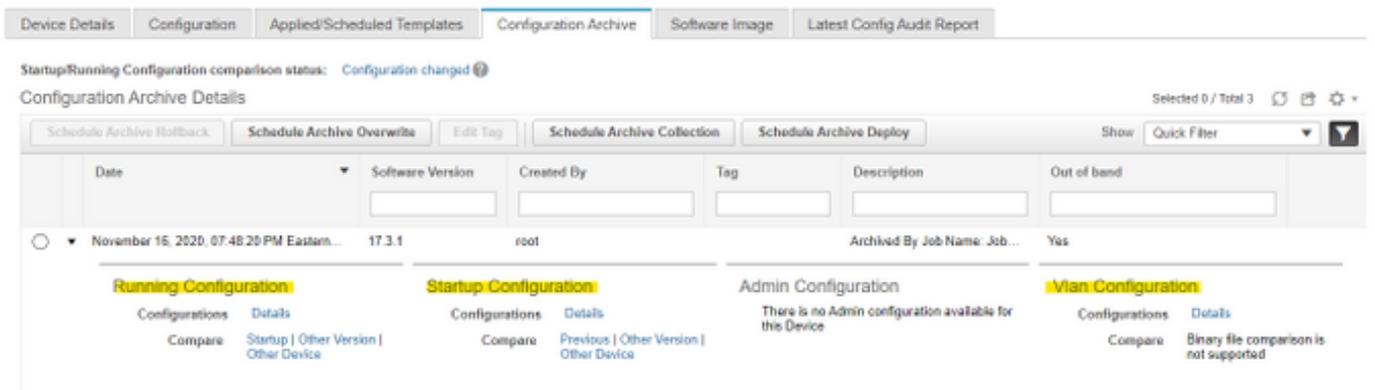
Config archiveも実行コンフィギュレーションを取得しますが、その上にvlanデータベースもコピーします。9800 WLCの設定をアーカイブする際、WLCは「show running-config」コマンドおよび「show startup-config」コマンドを実行してSSH経由で設定を取得し、コマンド「copy flash:vlan.dat tftp:」を実行してTFTP経由でVLANデータベースをPrime Infrastructureに直接転送します。次のテストでは、10.48.76.8がPrimeサーバのIPアドレスで、10.48.39.200が9800 WLCのIPアドレスです。

次に、9800 WLCの設定をアーカイブした結果を示します。

9800#

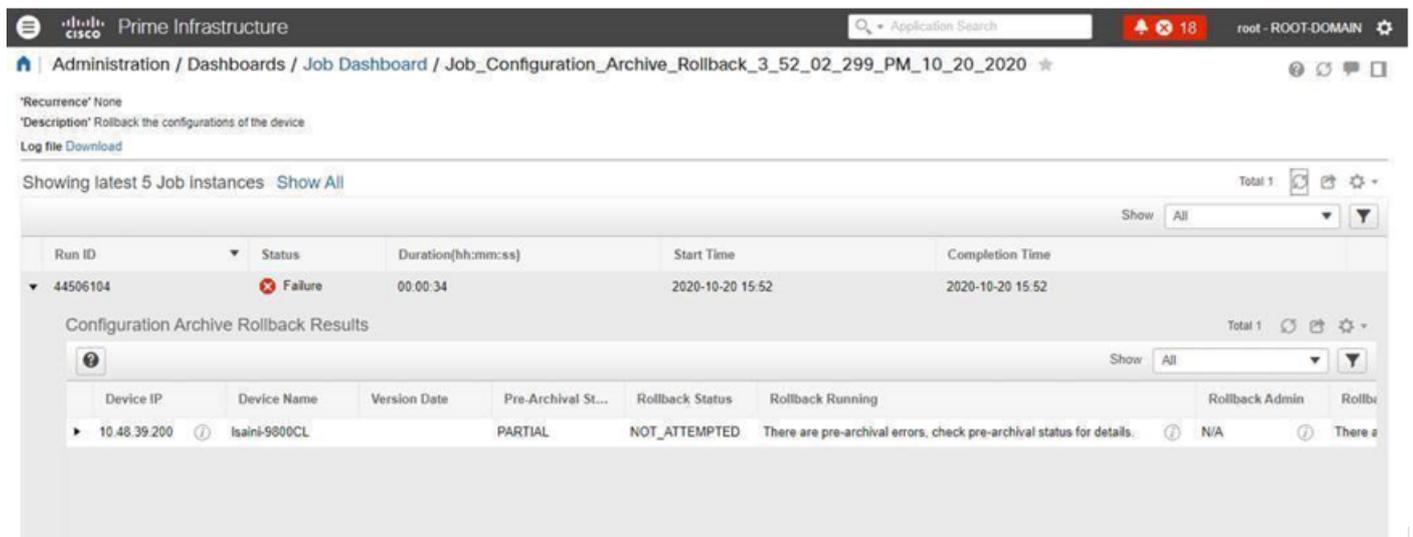
```
Nov 9 08:40:47.422: %HA_EM-6-LOG: catchall: show archive log config all
Nov 9 08:40:47.478: %HA_EM-6-LOG: catchall: show running-config
Nov 9 08:40:48.312: %HA_EM-6-LOG: catchall: show startup-config
Nov 9 08:40:48.392: %HA_EM-6-LOG: catchall: copy flash:vlan.dat tftp:
Nov 9 08:40:48.431: %HA_EM-6-LOG: catchall: disable
Nov 9 08:40:48.432: %SYS-6-LOGOUT: User admin has exited tty session 1(10.48.76.8)
```

設定アーカイブを実行すると、Primeは実行コンフィギュレーション、スタートアップコンフィギュレーション、およびVLAN設定を表示します。次に示します。



9800 WLCとPrimeサーバ間でTFTPをブロックしている場合。TFTPはWLCとサーバ間で使用されているプロトコルであるため、設定アーカイブは失敗します。

このような場合のPrime Infrastructureでの設定アーカイブの障害 (ASAが実行した設定のアーカイブなど):



参考資料

[Prime Infrastructure管理ガイド](#)

[0.CSCvu70264](#)

[Prime 3.8クイックスタートガイド - ポート一覧](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。